

図書館

としよだより

だより

問い合わせ先

泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>



七城公民館図書室には文庫本コーナーがあります。推理小説や時代小説、文庫本でしか出版されていないオリジナル本など多数取り揃えています。ぜひお越しください。(七城公民館図書室)

新着・お薦め図書

泗水図書館

平蔵の首 剛 著
 日本を、信じる 瀬戸内寂聴、ドナルド・キーン 著
 熊出没注意 自選短篇小説集 南木佳士 著
 魔法飛行 川上未映子 著
 あんぱん 孫正義伝 佐野真一 著
 魂の書 金澤翔子作品集 金澤泰子 著
 図解 東京スカイツリーのしくみ NHK 出版 編
 空のおくりもの アリソン・ジェイ 絵

中央公民館図書室

おとな「学問のすすめ」 齋藤孝 著
 美味しい、おかゆ 帯津良一 著
 かなたの子 角田光代 著
 ローズの希望の魔法 岡田晴恵 著
 5のすきなおひめさま こそぎさなえ 作

七城公民館図書室

晴天の迷いクジラ 窪美澄 作
 男子☆弁当部 1～4巻 イノウエ ミホコ 作

旭志公民館図書室

小学生男子(ダンスィ)のトリセツ まきりえこ 著
 かぞえておぼえる かずのえほん 島田ゆか 著

謎解きはディナーのあとで

僕がおすすすめしたい本は、東川篤哉さんの「謎解きはディナーのあとで」という本です。本屋大賞の1位に選ばれた本でもあります。

この本の、「一番おもしろい」ところは、「下」で毒舌の執事と、お嬢様の刑事が楽しいおしゃべりを繰り広げながら事件を解決していくところです。

その事件とは、マンションの一室で、ある女性が首を絞められて殺されるといふ事件や、バラ園での殺人事件など五つの事件です。

でも、この二人があつという間に事件を解決してしまうのです。その解決方法を知りたい人は、ぜひ手にとって



むとうしょうた 武藤翔太くん (泗水中3年)

読んでみてほしいです。僕はとてもおもしろくて、あつという間に読んでしまいました。皆さんもぜひ、読んでみてください。

東川篤哉 著

耳より情報

「おはなしの部屋」に参加しませんか？

「おはなしの部屋」では、赤ちゃんのための絵本の紹介やわらべ歌を楽しんでいます。どなたでも参加できますので、どうぞお気軽にご参加ください。

とき 毎月第4金曜の午前11時～午前11時30分

ところ 絵本コーナー

※今月は5月25日(金)です。

(泗水図書館)

臨時休室のお知らせ(旭志公民館図書室)

5月・6月は第1・3・5土曜日は休室となります。本の返却は、図書室入口のブックポストへお願いします。

第2・4土曜日は通常通り午前10時～午後5時まで開室していますので、ぜひ本を読みにお越しください。

万句の里俳句会 3月例会

麦青む村美しく動き初む 富田 幸子
 花種のいとかなすかななる音を待く 松永 久子
 履物のぎつしり脱がれ涅槃寺 中路 郁子
 春田打つ漢に阿蘇の煙立つ 鋤本 トミ
 末黒野や風に残火炎むら立つ 田中ひさ子

せせらぎ俳句会 3月例会

留守番のうたた寝誘ふ春炬燵 五丁 義昭
 駄句なれど出来る楽しさ春うらら 服部 静子
 長病みの友に手を副へ青き踏む 寺本 和子
 悲喜こもごも思ひ出させる桜かな 藤本アツ子
 卒業の思ひ嘸みしめ校舎去る 渡邊 一史

旭志文芸俳句会 3月詠草

東に美女の寝姿雪化粧 中尾ヨシコ
 石積みのお文巡りや草萌ゆる 芹川 蓉子

肥後狂句水笑会 3月例会

卒業式 銭食い虫の並うどる 井手 水光
 申告日 過ぎて顔色戻つとる 宮上 美由
 申告日 なんもかんもがお見通し 中島 五女
 申告日 ドキドキしたが無事済んだ 御手洗三代
 また花見 幹事するのもやおいかん 柏原 乗仏

七城短歌会 3月詠草

鼻先で薄氷割りし仔牛かな 水谷 ミネ
 風孕み野火は走りて畦焦がす 芹川のり子

肥後狂句水笑会 3月例会

なるほど 立退き料の絡んどる 村上 ○子
 とても無理 赤札からは値切られん 小川 繁美
 これ見よがし 巨乳がレース着てさ 狩野 本六
 わざと シャツに口紅つけちよいた 窪田 明徳
 働き者ン 亭主は床に飾つとる 田中 孝幸

高齡者大学 3月歌会

花びら餅より鶯餅へと品替はり店頭に見る春の兆しを 山代 静子
 雪国の難儀思へば言ふまじと思へど 寒いとまた繰り返す 梅野カヲル
 暖かき雨に誘はれ古木なる梅の蕾の紅くふくらむ 安東 綾子
 薄氷の解けし参道久びさに人語賑はう今日は初午 山田 弘子
 早春の隠しき庭に陽は注ぎ切り干し大根ふんわり匂ふ 川口 敦子

菊池短歌会 4月詠草

わが死ねば父の夢など誰がみる覚めてしばらく軍服の父 竹野美智代



きさらぎの稜線あはきたべにて寒入りの陽がゆつくりと落つ 中川 愛子
 たはむれに誰が口笛を交すかと里鶯の今朝しきり鳴く 中原ちえ子
 初咲きの庭の水仙供華にさし心静かに写経の筆とる 山下 菊代
 確かなる光はありて窓に見る杏の苔綻びはじめ 山代しず子

文芸

きくち